

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハロークリニック相談支援室			
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先や保護者からの相談に対して、適切なアドバイスをすることができている。	一人一人が自分に必要な研修を受けている。 巡回で挙げた質問で答えるのが難しかった質問を全体で共有している。 スタッフ間で情報共有をしている。(リハビリを担当しているスタッフと訪問するスタッフの間で)	新しく保育所等訪問に関わるスタッフがいるかもしれないので、巡回勉強会を継続して開いていく。 今回指摘のあったクラス運営についても学んでいく。
2	お子さんの最善の利益のため、訪問先施設、保護者との連携を図る	これまで通り、保護者には電話で訪問の様子をお伝えする。 訪問先施設のご迷惑にならない時間帯に訪問したり、連絡するようにしている。訪問先の意向も十分に汲み取るようにしている。	保護者への連絡は訪問前にも行い、訪問のポイントを一緒に確認するようにしておく。 特に訪問先の意向を個別指導計画に反映できるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援計画を示しながら支援の方向性を説明する。	事業所としては計画を示しながら保護者と相談しながら進めているつもりではあった。また、事後の報告もしている。しかし、事後報告の時に、今一度計画について触れることがなかったため、方向性がぶれてしまったのかもしれない。	しっかりアセスメントをして計画を立てる。支援者間で共有する。6か月でモニタリングをする、といった基本的なことを着実に実施していく。
2	非常事態に備えた訓練や対応の周知。	避難訓練等実施している。しかし、内容について詳しく分かる物を提供できていないのかもしれない。	安全計画や避難訓練の内容などを職員間でしっかり共有する。